

## 自社の「除振台」搭載

自動車用防振ゴムなど製造の倉敷化工（倉敷市連島町矢柄）は29日、液晶パネルや半導体の製造・検査装置を生産する本社新工場の建設に着手した。床から伝わる微細な振動を抑える自社製品「除振台」を搭載した装置で、グループ会社の既存工場が手狭になったため、生産能力を増強。現在約20億円の年間売り上げを、5年後に1.3倍の約26億円に伸ばす。（森元俊一朗）

## 倉敷化工 新工場着工

本社新工場の完成予想図



精密XYステージに組み込む除振台。床から伝わるかすかな揺れを抑える

除振台は、箱やテーブルの形をしており、特殊なばねを備え、ナノ級（ナノは10億分の1）レベルの揺れを抑える。同装置は、鉄製の脚と、石やセラミックでできた本体で構成。脚に除振台を組み込み、液晶パネルや半導体に欠かせない高精度な加工や検査を可能にする。装置名は「精密XYステージ」。

## 液晶・半導体装置増産へ

ジ」。

新工場は、駐車場の一角約2500平方メートルを転用し、鉄骨一部2階約1300平方メートルを整備。クレーンやクリーンルームを設ける。従業員10人程度を配置し、来春の稼働を目指す。投資額は非公表。

同社は2001年から本社工場を除振台を生産。電子顕微鏡や医療機器などの部品としてメーカーに出荷する一方、グループ会社のモーションコントロール（福井県あわら市）が同装置を生産している。スマートフォンや自動車の電動化などで、同装置の引き合いは増加しており、今後も旺盛な需要が見込まれるため、工場の新設に踏み切った。

この日は地鎮祭があり、関係者約50人が出席。竹下仁社長は「液晶パネルの市場は活況を呈しており、売り上げが想定以上に伸びると期待している。当社の柱となる工場に育てたい」と話した。

倉敷化工は1964年設立。資本金3億960万円。連結売上高415億円（18年3月期）、従業員2687人。国内4カ所と海外4カ所（中国2カ所、タイとメキシコ各1カ所）に生産拠点を置く。